



色麻町におけるえごまの栽培面積 (ha) と生産量 (kg) の推移

色麻町における「えごま」栽培の取り組みについて

色麻町では、「えごま」が自家用として昔から栽培・利用されており、この伝統ある「えごま」文化の継承と農業振興を目指して、平成 12 年に色麻町えごま栽培推進協議会が発足しました。

協議会では、独自の栽培マニュアルの作成や研修会の開催、生育ほの設置など地域の生産力向上や担い手の育成等に取り組んでいます。

また、専用コンバインや定植機、選別機、洗浄機、乾燥機の導入により「えごま」栽培の機械化一貫体系の確立することで作業効率の向上と軽労化、品質向上に努めています。

さらに、町、JA、産業開発公社が一体となって「えごま」の加工・商品開発・販売を行っており、アイスクリーム、えごまもち、ゆべし、クッキー、えごまラーメンなどの商品を数多く開発し、町の特産品としてPRするとともに、これらを活用した雇用の創出や交流人口の拡大につなげていこうとしています。(参考資料：色麻町えごま栽培推進協議会)